

2023年度4月入学

April 2023 Admissions

2022年度10月入学

October 2022 Admissions

九州工業大学大学院生命体工学研究科

Graduate School of Life Science and Systems Engineering

博士後期課程

Doctoral Programs

学生募集要項

Admission Application Guidance

一般選抜 Admissions for General Applicants

社会人特別選抜 Special Admissions for Adult Students

外国人留学生特別選抜 Special Admissions for International Students

国立大学法人九州工業大学

大学院生命体工学研究科

※変更が生じた場合は、以下のホームページでお知らせいたします。

九州工業大学ホームページ

<https://www.kyutech.ac.jp/>

生命体工学研究科ホームページ

<http://www.lsse.kyutech.ac.jp/>

2023年度4月入学・2022年度10月入学試験日程

【一般選抜 Admissions for General Applicants】

【社会人特別選抜 Special Admissions for Adult Students】

【外国人留学生特別選抜 Special Admissions for International Students】

	事前審査出願期間 Application Period for Screening	願書出願期間 Application period	選 抜 日 Examination Date	合格者発表日 Announcement of Successful Applicants Date
第1回入学試験 (面接試験) The 1st selection	2022年5月9日(月) ∩ 2022年5月13日(金)	2022年6月2日(木) ∩ 2022年6月9日(木)	2022年7月2日(土)	2022年7月8日(金)
第2回入学試験 (面接試験) The 2nd selection	2022年7月4日(月) ∩ 2022年7月8日(金)	2022年8月1日(月) ∩ 2022年8月5日(金)	2022年8月28日(日)	2022年9月6日(火)
第3回入学試験 (面接試験) The 3rd selection	2022年8月18日(木) ∩ 2022年8月24日(水)	2022年9月13日(火) ∩ 2022年9月21日(水)	2022年10月8日(土)	2022年10月14日(金)
第4回入学試験 (面接試験) The 4th selection	2022年12月5日(月) ∩ 2022年12月9日(金)	2023年1月6日(金) ∩ 2023年1月12日(木)	2023年2月4日(土)	2023年2月10日(金)

- ※ 2022年度10月入学試験は、第1回及び第2回で実施します。
- ※ 定員を満したした場合、以降の募集は行わない場合があります。
- ※ インターネット出願登録期間は各回募集要項をご確認ください。

必ずお読みください

※本学生募集要項に関して、追加事項等がある場合、本学ホームページにて随時周知しますので、出願前によく確認してください。

※2023年度4月入学・2022年度10月入学大学院生命体工学研究科博士後期課程の学生募集に関して、予告する事項がある場合、本学ホームページにて随時周知します。

九州工業大学ホームページ <http://www.kyutech.ac.jp>

目 次

I 2023年度4月入学・2022年度10月入学

1. 募集人員	1
2. 出願資格	2
3. インターネットを利用した出願手続き及び出願期間	6
4. 提出書類について	9
5. 提出方法について	12
6. 出願期間及びインターネット出願登録期間	13
7. 受験票について	13
8. 選抜方法	14
9. 試験の会場・日時	14
10. 受験環境の事前準備	15
11. 合格者の発表	15
12. 入学時に要する経費	16
13. 出願資格の審査申請について	16
14. 注意事項	17
15. 個人情報の取り扱いについて	17
16. 安全保障輸出管理について	18
17. キャンパス全面禁煙について	18
18. 留学生のための特別コースについて	18

II 大学院博士後期課程アドミッション・ポリシー . . . 20

III カーロボ AI 連携大学院について . . . 22

IV 長期履修制度について . . . 23

付表 主要教育研究分野一覧

1. 生命体工学専攻	24
------------	----

I 2023年度4月入学・2022年度10月入学

April 2023 Admissions・October 2022 Admissions

1. 募集人員 Number of Applicants Accepted

専攻名 Department	講座名 Division	募集人員 Number of Applicants Accepted	
		2023年 4月入学 April,2023 Enrollment	2022年 10月入学 October,2022 Enrollment
生命体工学 Life Science and Systems Engineering	グリーンエレクトロニクス Green Electronics	36	若干名 A few
	生体メカニクス Biological Mechanics		
	環境共生工学 Environment Conscious Chemistry and Bioengineering		
	☆グリーンテクノロジー ☆Green Technology		
	人間知能機械 Human Intelligence and Machines		
	人間知能創成 Intelligence Systems and Emergent Design		
	人間・脳機能 Human Interaction and Brain Functions		
	☆ヒューマンテクノロジー ☆Human Technology		

注1. ☆印：研究指導は、連携講座の研究機関において受けることがあります。

注2. 募集人員には、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を含みます。

注3. 定員を満したした場合、以降の募集は行わない場合があります。

Note 1. ☆ : The courses of study in the Chartered Divisions may involve a research activity at the respective home institutions of the thesis advisors.

Note 2. The Number of Applicants Accepted includes General and Adult Entrance Examination.

Note 3.If the admission capacity is full, we may not conduct subsequent entrance examination.

2. 出願資格 Qualifications to apply

[一般選抜 Admissions for General Applicants]

- (1) 修士の学位を有する者及び2023年3月（ただし、2022年10月入学志願者は、2022年9月とする。以下の各号において同じ。）までに取得見込みの者
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者及び2023年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与されたもの及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究機関等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24才に達したものと及び2023年3月までに24才に達するもの

【注】 上記出願資格（7）又は（8）により出願しようとする者は、「13. 出願資格の審査申請について」を参照してください。

[社会人特別選抜 Special Admissions for Adult Students]

企業等に在籍する研究者・技術者等で、大学等において志望の専攻と関連系統の専門教育を受けた者又は企業等で志望専攻の専門に関する経験を原則として1年以上有している者で、次の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 修士の学位を有する者及び2023年3月（ただし、2022年10月入学志願者は、2022年9月とする。以下の各号において同じ。）までに取得見込みの者
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者及び2023年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与されたもの及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究機関等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24才に達したものと及び2023年3月までに24才に達するもの

【注】 上記出願資格(7)又は(8)により出願しようとする者は、「13. 出願資格の審査申請について」を参照してください。

[外国人留学生特別選抜 Special Admissions for International Students]

日本の国籍を有しない者で、次の(1)から(7)のいずれかに該当し、(8)の条件を満たすもの

Non-Japanese citizens who meet one of the qualifications (1)-(7) in addition to requirement (8) are eligible.

- (1) 外国において、修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の各号において同じ。)に相当する学位を授与された者及び2023年3月(ただし、2022年10月入学志願者は、2022年9月とする。以下の各号において同じ。)までに授与される見込みの者

Applicants who have acquired or are expected to acquire a master's degree or professional degree in a foreign country by March 2023. Professional degree is defined by Section 5-2 of the Degree Regulations (Ordinance No. 9 of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology enacted in 1953) in accordance with Article 104-1 of the School Education Law. (Applicants applying for October 2022 admissions must acquire the degree by September 2022. The following articles are on the same condition.)

- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者

Applicants who have successfully completed sixteen years of education by taking a correspondence course in Japan offered by a foreign educational institution or are expected to complete said course by March 2023.

- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

Applicants who have completed a graduate school course from an educational institution in Japan which offers a graduate school course which operates within the framework of the education system of a foreign country and is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and have received or are expected to receive a degree equivalent to a master's degree or professional degree from said institution.

- (4) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

Applicants who have completed a master's degree course at the United Nations

University, and have received the equivalent to a its master's degree.

- (5) 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学府において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

Applicants who have engaged in research at a college, university, research institute etc. for at least two years after graduation from a university, and are recognized by the Kyushu Institute of Technology (hereafter: "this Institute") as having academic ability equal to or surpassing students who have a master's degree or professional degree, judging from the results of the said research.

- (6) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

Applicants who have successfully completed sixteen years of education at an educational institution in a foreign country, or have successfully completed sixteen years of education through a correspondence course offered by a foreign educational institution in Japan, and have engaged in research at a college, university or research institute for at least two years, and also are recognized by this Institute as having academic ability equal to or surpassing students who have a master's degree or professional degree, judging from the results of the said research.

- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの及び2023年3月までに24歳に達する者

Applicants who have been recognized by this Institute, based on individual screening of admission requirements, as having academic ability equal to or surpassing students who have received a master's or professional degree, and is at least 24 years old or will be 24 years old by March 2023.

- (8) 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学時に在留資格を「留学」に変更することを確約する者

Applicants who have a certificate of eligibility as a student visa (a ryugaku visa) which is specified by the Immigration Control Act or Refugee Approval Act, or will make a firm commitment to change to a student visa upon admission to this Graduate School.

(注1) 日本の国籍を有しない者で、日本の修士の学位又は専門職学位を有する者(2023年3月取得見込みの者を含む。)は、特別選抜の対象とはしません。

Note 1. Non-Japanese citizens who have acquired or are expected to acquire a master's degree or professional degree from a Japanese graduate school are not eligible. (Including a person who expects to acquire a degree in March 2023.)

(注2) 出願資格(5)(6)(7)によって出願しようとする場合は「個別の入学資格審査」を行い

ますので、申請期間に「入学資格個別審査申請書」（和文・英文選択可）を提出してください。様式は本学ホームページ（<https://www.kyutech.ac.jp/examination/isse-doctor.html>）よりダウンロード可能です。

Note 2. Applicants who meet requirement (5) (6) (7) are subject to an individual screening and must submit an Application Form for Individual Screening. (For the format style you may select English or Japanese.) The Application form can be downloaded from the website. (<http://www.lsse.kyutech.ac.jp/english/admission/information.html>)

3. インターネットを利用した出願手続き及び出願期間

Flowchart of application procedure

インターネットを利用した出願手続き及び出願期間募集要項の出願資格、出願期間、出願手続、選抜方法及び試験日等をすべて確認した後のインターネットを利用した出願手続の流れは、次のとおりです。

After checking the information necessary for applicants, such as the required qualification, application period, application procedure, selection process, and the date of examination, you should follow the procedure below to apply to the university.

<インターネット出願登録サイト Online registration website>

<http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

①出願情報の登録 Registration of application information

インターネットに接続している端末（以下「端末」という。）から、画面の指示に従って、登録内容（試験区分、志望専攻・分野、希望指導教員、個人情報等）を入力します。

From a device connected to the Internet, register the necessary information (examination category, your desired departments and areas, your desired advisors, personal information, etc.) following the on-screen instructions.



出願情報の確認・修正 Confirmation and modification of application information

登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できます。

Check the information you registered. You can print out documents for confirmation.



②入学検定料の支払い Paying entrance examination fee

入学検定料の支払い方法に従って、検定料を支払います。

【支払い方法】クレジットカード、コンビニエンスストア、銀行ATM（ペイジー）、ネットバンキング

Pay the entrance examination fee using one of the payment methods below.

Payment methods: credit card, convenience store, bank ATM (Pay-easy), Internet banking



③出願登録内容の印刷 Printing out the registered application documents

「志願内容確認票（提出用）」など、インターネット出願登録内容（提出書類の一部）を印刷します。

Print out the online registration (part of the application documents) including the “Application confirmation sheet (for submission).”



④提出書類の郵送又は持参 Sending or bringing the application documents

「インターネット出願登録内容の印刷物（③で印刷したもの）」と「その他必要書類」を出願期間内に、九州工業大学の窓口まで郵送又は持参することで、出願手続完了となります。

The applicants must send or bring the “printed matter of the online registration (documents you printed out in Step (3))” and “other necessary documents” to the office of Kyushu Institute of Technology within the application period.

(注1) インターネットを利用した出願手続において、インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

ア 次のいずれかに該当する入学志願者は、インターネット出願登録を開始するためのパスワードが必要です。出願することが確定した段階で、必ず生命体工学研究科教務・入試係 (sei-nyushi@jimu.kyutech.ac.jp) に電子メールで連絡し、パスワードを取得してください。

1 外国人留学生特別選抜に出願する者

2 本学大学院博士前期課程修了見込みの者で引き続き博士後期課程に進学する者

3 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生

4 本学が指定する自然災害の被災者で、入学検定料の免除申請を行ったもの

※ 電子メールで連絡する際は、「志願者氏名」、「試験区分（一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜など）」、「志望専攻・分野」，「希望指導教員」及び「上記1～4のいずれに該当するか」を電子メールの本文に必ず記載してください。

※ メールタイトルは「インターネット出願登録パスワード請求」として送信してください。

※ パスワード取得の電子メール受付時間は、午前8時30分から午後5時までです。

ただし、土・日・祝日及び大学の休業日は除きます。

イ 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア，銀行ATM（ペイジー），クレジットカード及びネットバンキングのいずれかでお支払いが可能です。

ウ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、インターネット出願登録完了等のメールを配信します。）

エ A4サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ，カラーどちらでも可）が必要となります。印刷用紙は普通紙で構いません。（インターネット出願登録内容等を印刷することになります。）

オ 下記「4. 提出書類について」のうち、「その他必要書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。

(注2) 自宅や在籍する学校・予備校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、入試課入試実施係（093-884-3056）までご相談ください。

※ その他、入学検定料の支払い方法，インターネット出願登録に関するよくある質問など詳細については、下記<インターネット出願登録サイト>をご覧ください。インターネット出願登録マニュアルも<インターネット出願登録サイト>に掲載しています。

<インターネット出願登録サイト>

<http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

Note 1. The following are the main items (other than Internet access) you need to prepare for the online registration.

A) Any applicant who comes under any of the following must have a password to start online registration. Once the application is determined, make sure to notify the Graduate School of Life Science and Systems Engineering Administrative Office (sei-nyushi@jimu.kyutech.ac.jp) by e-mail (*Phone not available) to obtain the password.

1. Applicants for Special Admissions for International Students.

2. Students who are expected to complete a Master's program at the Graduate Schools of the Kyushu Institute of Technology and advance to a Doctoral program.

3. Japanese Government (Monbukagakusho:MEXT) Scholarships.

4. Applicants for the entrance examination fee exemption who are victims of the natural disasters designated for the exemption by Kyushu Institute of Technology.

*When communicating via e-mail, be sure to include in the body of the e-mail the name of applicant, the examination category (Admissions for General Applicants, Special Admissions for Adult Students, and Special Admissions for International Students, etc.), the desired department/area, the desired Advisor, and which of 1 to 4 above you come under.

*Please send the e-mail with the title "Request for the online Application Registration Password".

*Please be advised that you make the request well ahead of time. The password can be obtained by e-mail between 8:30 and 17:00 on weekdays, excluding Saturdays, Sundays, national holidays, and university holidays.

- B) Payment method for the entrance examination fee

You may pay the fee at a convenience store, or by bank ATM (Pay-easy), credit card, or Internet banking.

- C) E-mail address

You may use an e-mail address of smartphones, cell-phones, or free e-mail account services. (We will send you e-mails to the address you registered when the online registration is completed.)

- D) Printer that supports 8 1/2 x 11' (A4) paper (either in black-and-white or full color)

Using plain paper would be just fine. (You will be printing out the online registration with the paper you choose.)

- E) "Additional necessary documents" out of the documents listed of the application guidance .It may take time to prepare depending on the documents required.

Note 2. In the case the applicants do not have connection to the Internet, contact to Admissions Execution Section (093-884-3056) in advance.

<Online registration website>

<https://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/gs-internet-application.html>

4. 提出書類について Documents to be submitted

インターネット出願登録完了後、次に掲げる書類等を一括取り揃え、所定の期日までに生命体工学研究科教務・入試係へ提出してください。

After you have finished the online registration, prepare and submit the following documents.

[一般選抜 Admissions for General Applicants]

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
インターネット出願登録内容の印刷物	①志願内容確認票（提出用）	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②写 真 票	以下の条件を満たす写真を用意し、裏面に志望専攻及び氏名を記入し、写真票の所定の箇所に貼り付けてください。 ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦 4.5cm×横 3.5cm のもの。
	③宛 名 ラ ベ ル	印字されている志望専攻・分野、差出人に誤りがないか確認してください。市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に宛名ラベルを貼り付け、出願書類を入れて「速達簡易書留郵便」で郵送してください。
その他必要書類	④博士前期課程又は修士課程の学位取得（見込）証明書	出身学校が作成したもの。 ただし、本研究科博士前期課程を修了（見込み）の者及び出願資格（7）又は（8）により出願する者は提出する必要はありません。 なお、博士前期課程1年次在学者で、在学期間を短縮して修了する見込の者は、学府長または研究科長の発行する修了見込証明書を提出してください。
	⑤成 績 証 明 書	出身学校が作成したもの。 ただし、出願資格（7）又は（8）により出願する者は提出する必要はありません。
	⑥研究（希望）計画書	本研究科における研究（希望）計画を記入してください。（様式については、別紙参照） *本冊子公表後、教員の異動があった場合は、本学ホームページ (http://www.kyutech.ac.jp) にて随時お知らせしますので、よく確認してから記入してください。
	⑦修士論文及びその概要	修了者は、修士論文及びその論文の内容を要約した概要（2000字程度）、修了見込み者は、修士論文作成に関する研究内容を要約した概要（2000字程度）のみを提出してください。（様式については、別紙「修士論文の概要」参照）※出願資格審査を受けたものは、修士論文に代わる研究内容に関して要約した概要（2000字程度）を提出してください。
	⑧公表論文等の業績リスト	可能な限り、別刷を添付してください。（様式任意）

	<p>⑨在留資格証明書(査証手続きの済んだもの)の写し、又は住民票の写し</p>	<p>外国人志願者のみ提出してください。ただし、現在外国に居住している志願者は除きます。</p>
--	--	--

[社会人特別選抜 Special Admissions for International Students]

出 願 書 類 等	注 意 事 項	
インターネット出願登録内容の印刷物	①志願内容確認票(提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②写 真 票	<p>以下の条件を満たす写真を用意し、裏面に志望専攻及び氏名を記入し、写真票の所定の箇所に貼り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦 4.5cm×横 3.5cm のもの。
	③宛 名 ラ ベ ル	印字されている志望専攻・分野、差出人に誤りがないか確認してください。市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に宛名ラベルを貼り付け、出願書類を入れて「速達簡易書留郵便」で郵送してください。
その他必要書類	④博士前期課程又は修士課程の学位取得(見込)証明書	<p>出身学校が作成したもの。</p> <p>ただし、本研究科博士前期課程を修了(見込み)の者及び出願資格(7)又は(8)により出願する者は提出する必要はありません。</p> <p>なお、博士前期課程1年次在学者で、在学期間を短縮して修了する見込の者は、学府長または研究科長の発行する修了見込証明書を提出してください。</p>
	⑤成 績 証 明 書	<p>出身学校が作成したもの。</p> <p>ただし、出願資格(7)又は(8)により出願する者は提出する必要はありません。</p>
	⑥研究(希望)計画書	<p>本研究科における研究(希望)計画を記入してください。(様式については、別紙参照)</p> <p>*本冊子公表後、教員の異動があった場合は、本学ホームページ(http://www.kyutech.ac.jp)にて随時お知らせしますので、よく確認してから記入してください。</p>
	⑦修士論文及びその概要	<p>修了者は、修士論文及びその論文の内容を要約した概要(2000字程度)、修了見込み者は、修士論文作成に関する研究内容を要約した概要(2000字程度)のみを提出してください。(様式については、別紙「修士論文の概要」参照)※出願資格審査を受けたものは、修士論文に代わる研究内容に関して要約した概要(2000字程度)を提出してください。</p>
	⑧公表論文等の業績リスト	可能な限り、別刷を添付してください。(様式任意)
	⑨業 績 報 告 書	修士論文のほかに研究論文を有する者のみが記入

		し、原則として別刷及び業績概要を添付してください。(様式任意)
	⑩業 務 報 告 書	いままでに携わった研究・技術職について、その内容を詳しく記入してください。(様式任意)
	⑪在留資格証明書(査証手続きの済んだもの)の写し又は住民票の写し	外国人志願者のみ提出してください。ただし、現在外国に居住している志願者は除きます。

[外国人留学生特別選抜 Special Admissions for International Students]

出 願 書 類 等 Documents		注 意 事 項 Note
インターネット出願登録内容の印刷物 Printed matter of the online registration	①志願内容確認票(提出用) Application confirmation sheet(for submission)	インターネット出願登録後、印刷したもの。 Print this out after you have finished the online registration.
	②写真票 Photo card	以下の条件を満たす写真を用意し、裏面に志望専攻及び氏名を記入し、写真票の所定の箇所に貼り付けてください。 ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦4.5cm×横3.5cmのもの。 Prepare your photograph that meets the conditions below, write your name and desired department on its back, and paste it to the photo card. The photograph must be: i. the applicant's upper body, frontal view without a hat, and taken within three months; ii. 4.5 (height) x 3.5 (width) cm; and iii. clear image.
	③宛名ラベル Address label	印字されている志望専攻・分野、差出人に誤りがないか確認してください。市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に宛名ラベルを貼り付け、出願書類を入れて「速達簡易書留郵便」で郵送してください。 If you are sending the necessary documents after you have finished the online registration, print out an address label from the online registration website and paste it on an envelope (240 x 332 mm, also called K2 size in Japan).
その他必要書類 Other necessary documents	④博士前期課程又は修士課程の学位取得(見込)証明書 Certificate of Master's Degree(or Certificate of Expected Master's Degree)	出身学校が作成したもの。 ただし、本研究科博士前期課程を修了(見込み)の者及び出願資格(5)から(7)により出願する者は提出する必要はありません。 A certificate issued by the institution the applicant attended and an English or Japanese translation of said certificate. *Exception: individuals who qualify for admission qualifications (5) to (7) are exempted from submission
	⑤成績証明書 Transcripts	出身学校が作成したもの。 (英語又は日本語に訳したものを添付してください。) ただし、出願資格(5)から(7)により出願する者は、提出する必要はありません。 A transcripts issued by the educational institution attended and an English or Japanese translation of said transcripts. *Exception: individuals who qualify for admission qualifications (5) to (7) are exempted from submission.

		*Original
⑥研究（希望）計画書 Statement of purpose		本研究科における研究（希望）計画を記入してください。 Submit a research plan for the Doctor's program. *Download the file from the site below. http://www.lsse.kyutech.ac.jp/english/admission/information.html
⑦修士論文及びその概要 Master's thesis and abstract		修了者は、修士論文及びその論文の内容を要約した概要（2000字程度）、修了見込み者は、修士論文作成に関する研究内容を要約した概要（2000字程度）のみを提出してください。 Applicants who have completed a master's degree should submit their master's thesis and abstract in approximately 2,000 words. Master's candidates should submit a progress report on master's thesis in approximately 2,000 words. *Download the file from the site below. http://www.lsse.kyutech.ac.jp/english/admission/information.html
⑧公表論文等の業績リスト List of academic achievements (Published papers etc.)		可能な限り、別刷を添付してください。（様式任意） Attach offprint as many as possible. *Format is up to applicant.
⑨在留資格証明書(査証手続きの済んだもの)の写し、又は住民票の写し A copy of the Certificate of Eligibility for Resident Status or residence or residence card		現在外国に居住している志願者は除きます。 Only non-Japanese applicants who reside in Japan need to submit this. *Exception: Non-Japanese applicants who reside outside of Japan need to submit a copy of the passport.
⑩推薦書 Letter of Recommendation		指導教員等が作成したもの。 (英語又は日本語に訳したものを添付してください。) This letter should be written by one of the applicant's professors. Include an English or Japanese translation of said recommendation.

5. 提出方法について How to submit

(1) 郵送の場合 Send by post

市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願登録完了後に印刷した宛名ラベルを貼り付け、提出書類を入れて、「速達簡易書留郵便」で郵送してください。（※各回とも出願期間最終日の16時必着）

※ただし、海外から郵送する場合には、宛名ラベルの印刷・提出は不要。海外から郵送する場合には、必ず「EMS（国際スピード郵便）」等の追跡可能な送付方法を利用し、封筒の表には「入学願書（APPLICATION DOCUMENTS）」と朱書すること。）

Prepare an envelope (240 x 332 mm, also called K2 size in Japan), print out and paste the abovementioned address label to the envelope, and send it with the necessary documents by "Simple Registered Express Mail." (Must be received by the end day of the application period)

*If sending the documents from overseas, address labels are unnecessary. Whenever sending the documents from overseas, write the address below and use a method that has track and trace services, such as EMS (Express mail). Be sure to write down "Application documents" in red on the front side of the envelope.

〒808-0196

福岡県北九州市若松区ひびきの2番4号

九州工業大学大学院生命体工学研究科教務・入試係

Kyushu Institute of Technology (Kyutech)

Graduate School of Life Science and Systems Engineering (Wakamatsu Campus),
Academic and Admissions Section

2-4 Hibikino, Wakamatsu-ku, Kitakyushu 808-0196, Japan

(2) 持参の場合 Bring directly to the office

九州工業大学生命体工学研究科教務・入試係の窓口へ提出してください。(※各回とも出願期間最終日の16時まで) なお、受付時間は午前9時から午後4時までです。ただし、土・日・祝日は除きます。

Submit the application documents to the Graduate School Section of Graduate School of Life Science and Systems Engineering (Wakamatsu Campus). Office hours are from 9 AM to 4 PM on weekdays.

6. 出願期間及びインターネット出願登録期間について

Date and Venue of Examination

出願期間（提出書類受付期間）は、次のとおりです。

	出願期間 Application period	インターネット出願登録期間 Online registration period
第1回入学試験 The 1st selection	2022年 6月 2日(木)～ 2022年 6月 9日(木) June 2 (Thursday) - June 9 (Thursday), 2022	2022年 5月31日(火) 9時～ 2022年 6月 9日(木) 16時 May 31 (Tuesday) AM 9 - June 9 (Thursday) PM 4, 2022
第2回入学試験 The 2nd selection	2022年 8月 1日(月)～ 2022年 8月 5日(金) August 1 (Monday) - August 5 (Friday), 2022	2022年 7月25日(月) 9時～ 2022年 8月 5日(金) 16時 July 25 (Monday) AM 9 - August 5 (Friday) PM 4, 2022
第3回入学試験 The 3rd selection	2022年 9月13日(火)～ 2022年 9月21日(水) September 13 (Tuesday) - September 21 (Wednesday), 2022	2022年 9月 7日(水) 9時～ 2022年 9月21日(水) 16時 September 7 (Wednesday) AM 9 - September 21 (Wednesday) PM 4, 2022
第4回入学試験 The 4th selection	2023年1月 6日(金)～ 2023年1月12日(木) January 6 (Friday) - January 12 (Thursday), 2023	2022年 12月30日(金) 9時～ 2023年 1月12日(木) 16時 December 30 (Friday) AM 9, 2022 - January 12 (Thursday) PM 4, 2023

7. 受験票について Admission ticket for examination

各回の入試の受験票ダウンロード可能日時を確認のうえ、インターネット出願登録サイトの「申込確認」ボタンから受験票をA4サイズで印刷して、当該受験票を試験当日に持参してください。本学から受験票を発送することはありませんので、注意してください。

なお、受験票の印刷手順は、インターネット出願登録サイト

(<http://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>) に掲載しているインターネット出願登録マニュアルを参照してください。

また、受験票は、入学手続き時まで保管してください。

You can download an admission ticket starting from the dates listed below. Go to the online registration website, log in to the application confirmation screen by pressing the “Confirm application” button, print out your admission ticket on 8 1/2 x 11' (A4) paper, and bring it on the day of the examination. Note that the university will not send you any admission tickets.

You may refer to the online registration guideline by following this link (<http://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/gs-internet-application.html>) for further information on how to print out the admission ticket.

	日 時 Start date of admission ticket download
第1回入学試験 The 1st selection	2022年 6月24日(金) 10時以降 June 24 (Friday) AM 10, 2022
第2回入学試験 The 2nd selection	2022年 8月19日(金) 10時以降 August 19 (Friday) AM 10, 2022
第3回入学試験 The 3rd selection	2022年 9月30日(金) 10時以降 September 30 (Friday) AM 10, 2022
第4回入学試験 The 4th selection	2023年 1月27日(金) 10時以降 January 27 (Friday) AM 10, 2023

8. 選抜方法 Selection Procedures

面接試験及び書類審査の結果を総合的に判断します。

Successful applicants are selected on the basis of evaluation of submitted documents and interview examinations.

・面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文、博士後期課程入学後の研究計画、専門学力、成績証明書の内容等に関して口頭試問を行います。

・Interview Examination

Applicants will be evaluated by an interview based on the submitted master's thesis or equivalent research paper, research plan after being admitted into the doctoral course, academic ability in their field, and transcripts.

9. 試験の会場・日時 Date and Venue of Examination

(1) 試験会場 Examination Venue

Zoom (<http://zoom.us>)

ミーティング ID、パスワードは、事前にお知らせします。

The Admissions Office will send you an ID and a password.

(2) 試験日 Examination Date

試 験 日 Examination Date

第1回入学試験 The 1st selection	2022年 7月 2日 (土) July 2 (Saturday), 2022
第2回入学試験 The 2nd selection	2022年 8月 28日 (日) August 28 (Sunday), 2022
第3回入学試験 The 3rd selection	2022年 10月 8日 (土) October 8 (Saturday), 2022
第4回入学試験 The 4th selection	2023年 2月 4日 (土) February 4 (Saturday), 2023

※Zoomへの入室時間は、事前にお知らせします。

The Admissions office will inform you of the Zoom meeting time.

10. 受験環境の事前準備 Advance preparation

当日までに余裕をもって受験環境の準備をしてください。

- (1) 電子端末（デスクトップあるいはノートPC）を準備してください。
 - ・カメラ、マイク、スピーカー機能を使用できるもの、または付加したもの。
 - ・事前に最新版のZoom (<http://zoom.us>)をダウンロードし、ミーティングテストなどを利用して、オーディオ設定等を確認しておいてください。
- (2) イヤホンまたはヘッドホンを準備してください。
- (3) ネットワーク回線を準備してください。
 - ・遠隔面接での通信時間は、待機時間を含めて最大40分程度です。
 - ・接続環境安定のため、できるだけ有線での接続を推奨します。なお、面接中に使用するデータ量が容量制限にかからないよう、あらかじめ契約内容を確認してください。
 - ・自身でネットワーク回線が準備できない場合や通信速度に不安がある場合は、現在のご所属の大学等に協力を依頼してください。

You must be sure to check the notice below.

- (1) Prepare an electronic device.
 - ・ Please download Zoom (<http://zoom.us>) in advance.
- (2) Prepare earphones or headphones.
- (3) Prepare the network line.
- (4) Secure an interview place.
 - ・ Please prepare a quiet place where no one can enter the room. Joining the interview from home is acceptable.
 - ・ Prepare a place where there is no problem with the background to be seen. (Virtual backgrounds are not acceptable.)
- (5) Check the Zoom audio settings, etc.
 - ・ Use Zoom's meeting test (<https://zoom.us/test>) to check your audio settings.
 - ・ Make sure you have the latest version of Zoom.

11. 合格者の発表 Announcement of Successful Applicants

	日 時 Date and Time
第1回入学試験 The 1st selection	2022年 7月 8日 (金) 午前10時 July 8 (Friday) AM10, 2022
第2回入学試験 The 2nd selection	2022年 9月 6日 (火) 午前10時 September 6 (Tuesday) AM10, 2022

第3回入学試験 The 3rd selection	2022年10月14日(金) 午前10時 October 14 (Friday) AM10, 2022
第4回入学試験 The 4th selection	2023年 2月10日(金) 午前10時 February 10 (Friday) AM10, 2023

午前10時頃から、ホームページ (<http://www.kyutech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載します。また、合格者には発表と同時に「合格通知書」等を郵送します。電話等による合否の問い合わせには応じられません。

Examinee seat numbers of successful applicants will be posted on this Institute's website (<http://www.kyutech.ac.jp/>), and a written notification of acceptance will be sent by mail. Results cannot be given by phone, fax, or email.

12. 入学時に要する経費 Admission Fees

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| (1) 入学料 | 282,000円(予定額) |
| また、外国人合格者のうち、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。 | |
| (2) 学生教育研究災害傷害保険料 | 2,600円(予定額) |
| (3) 後援会費 | 10,000円(予定額) |
| (4) 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険 | 31,380円(予定額) |

1. Entrance fee: ¥282,000 (tentative)

However, those who are expected to complete the master's program at the Kyushu Institute of Technology and will continue to enter the doctoral program will not be collected.

Note that Japanese Government Scholarship (MEXT) Students are not required to pay the entrance fee.

2. Research Accident Insurance: ¥2,600 (tentative)

3. Support Club Fee: ¥10,000 (tentative)

4. Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with "Gakkensai": ¥31,380 (tentative)

13. 出願資格の審査申請について Screening of Qualifications

「一般選抜」及び「社会人特別選抜」の出願資格(7),(8)並びに「外国人留学生特別選抜」の出願資格(5),(6),(7)により出願する者は、必ず事前に生命体工学研究科教務・入試係へお問い合わせのうえ、次の書類を、下記の出願資格審査申請期間に提出してください。

Applicants of Special Admissions for International Students who meet requirement (5),(6) and (7) are subject to an individual screening and must submit the following documents.

The Application form can be downloaded from the website.

(<http://www.lsse.kyutech.ac.jp/english/admission/information.html>)

- 出願資格審査申請書(別紙様式1)
Petition for Eligibility Appraisal for Admission Application (No.1)
- 出願資格審査調書(別紙様式2)
Resume for Eligibility Appraisal for Admission Application (No.2)
- 研究実績(別紙様式3)
Research Experiences and Citations (No.3)
- 研究歴申告書(別紙様式4)
Statement of Purpose (No.4)
- 出身学校の卒業(修了)証明書及び成績証明書

A transcripts and certificate of degree issued by the educational institution attended
 審査の結果は、下記審査結果発送日に本人へ発送します。

The results of the examination will be sent to the applicant on the date of the following
 examination results.

	出願資格審査申請期間 Application Period for Screening	審査結果発送日 Notification of Screening Results
第1回入学試験 The 1st selection	2022年 5月 9日(月)～2022年 5月13日(金) May 9 (Monday) - May 13 (Friday), 2022	2022年 5月20日(金) May 20 (Friday), 2022
第2回入学試験 The 2nd selection	2022年 7月 4日(月)～2022年 7月 8日(金) July 4 (Monday) - July 8 (Friday), 2022	2022年 7月15日(金) July 15 (Friday), 2022
第3回入学試験 The 3rd selection	2022年 8月18日(木)～2022年 8月24日(水) August 18 (Thursday) - August 24 (Wednesday), 2022	2022年 8月30日(火) August 30 (Tuesday), 2022
第4回入学試験 The 4th selection	2022年12月 5日(月)～2022年12月 9日(金) December 5 (Monday) - December 9 (Friday), 2022	2022年12月20日(火) December 20 (Tuesday), 2022

14. 注意事項 Notes

- (1) 本研究科の詳細については、ホームページ (<http://www.lsse.kyutech.ac.jp/>) を参照してください。
- (2) 障害等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に生命体工学研究科教務・入試係に相談してください。
- (3) 出願手続き後は、提出書類の内容変更は認めません。
- (4) 納入した入学検定料及び提出書類は、原則返還しません。
 1. Please refer to the website (<http://www.lsse.kyutech.ac.jp/>) for details of the Graduate School.
 2. Applicants who have a handicap and need special care during the examination or in class should consult the Administrative Office of the Graduate School of Life Science and Systems Engineering.
 3. No revisions may be made to documents once they have been submitted.
 4. The entrance examination fee is non-refundable.

15. 個人情報の取扱いについて Handling of Personal Information

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 入学者選抜で利用した成績等を、入学後の学習指導等で利用します。
- (2) 入学者選抜で利用した成績等を、授業料免除等の就学支援業務で利用します。
- (3) 入学者選抜で利用した成績等の個人情報を、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。

※ 本学が取得した個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

In addition to the entrance examination, personal information obtained shall be used in the

following circumstances:

- (1) Transcripts which are used for entrance examination etc. shall be used in the school guide once applicant is accepted.
- (2) Transcripts which are used for entrance examination etc. shall be used to determine whether the applicant should receive financial assistance such as waiver of first year tuition fees.
- (3) Documents and personal information such as transcripts for entrance examination etc. may be used in research and studies on the entrance examination system of this Institute in a format that does not disclose the identity of the individual.

Except for cases stipulated in Article 9 of “Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies”, this Institute will not use personal information it has obtained for any other purposes, or provide it to third parties without the applicant’s consent.

16. 安全保障輸出管理について Security Export Control

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規則事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

参考 <http://www.kyutech.ac.jp/exchange/international/anpo/>

We have established the Security Export Control Regulations in Kyushu Institute of Technology based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan, and rigorously screen potential international students on the basis of these regulations.

International applicants who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program.

Access the following website for more details:

<http://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>

<http://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/security-export-control.html>

17. キャンパス全面禁煙について Non-smoking on campus

九州工業大学では、学生並びに教職員の疾病予防、健康の維持・増進、さらには快適な学習・職場環境づくりを推進していくために、全キャンパスを令和元年10月1日をもって全面禁煙とします。なお、詳細については、下記のホームページを参照願います。

URL: <https://www.kyutech.ac.jp/information/nonsmoking.html>

URL: <https://www.kyutech.ac.jp/english/search.html?keyword=smoking>

18. 留学生のための特別コースについて Special courses for International students

以下のコースは留学生を対象にした英語で授業などを行う特別コースです。受講を希望する場合、主指導教員と相談のうえ、出願パスワード請求時に申し出てください。

日本人学生が受講を希望する場合、入学後に主指導教員と相談のうえ、所定期間内に履修申請をしてください。

The following courses are special courses for international students, such as classes in English. If you wish to take the course, please consult with your supervisor and make a

request when requesting an application password.

- Global AAR Course
- Global Green Energy and Electronics Course

参考 http://www.lsse.kyutech.ac.jp/departments/special_courses.html

II 大学院博士後期課程アドミッション・ポリシー

九州工業大学大学院は、開学以来の理念である「技術に堪能なる士君子」の養成に基づき、高い専門性と深い学識を持ち、卓越した能力と豊かな創造性を持って、研究・開発に従事できる高度技術者を育成します。

理工学系専門分野において、最先端の知識と研究開発能力、および他分野と接する境界領域の知識の修得を目指し、これらに必要な専門分野の高度な知識を修得しているとともに、プレゼンテーション力、外国語によるコミュニケーション力、社会に果たす役割の理解、自立性、チームワーク力を身につけている皆さんの入学を期待します。

- (1) 技術者としての独創的思考および研究開発活動を行うための工学専門分野における高度な知識を修得している
- (2) 各専門分野が社会で果たす役割を理解できる
- (3) 研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得している
- (4) 新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得している
- (5) 英語によるコミュニケーション能力を身につけている
- (6) 自己の役割の認識を深める態度を有している
- (7) 未知の専門的課題に対して、その解決に向けた計画立案と作業の管理ができる
- (8) チームの一員としてチーム活動の改善を提案することができる

○生命体工学研究科 生命体工学専攻

【技術者及び研究者としての養成目標】

本研究科は、生物の持つ、省資源、省エネルギー、環境調和、人間との親和性等の優れた構造や機能を解明し、それを工学的に実現し応用することのできる技術者や研究者の養成を目指しています。さらに、社会と連携して社会のニーズに応えることにより、現代社会の諸問題を解決し、自然との持続的な調和に貢献でき、グローバルリーダーとして活躍することができると同時に、研究・技術分野の動向を常に注視し、革新的成果の実現を図ろうとする人材の養成も目指しています。

【求める人材】

(1) 深い専門知識と応用技術修得のための知識を修得しており、(2) 関連する境界分野の知識と技術を理解でき、(3) 技術の社会的・経済的波及価値を理解し、社会のニーズに応える能力のあり、(4) 論理的・独創的思考とマネジメント能力を持ち、(5) グローバルな視点で物事を判断することができる人材を求めます。

【一般選抜試験で受け入れる人材】

(1) 技術者に必要な専門分野における高度な知識を持ち、(2) 外国語によるコミュニケーション能力を修得している人材を受け入れます。

【社会人特別選抜試験で受け入れる人材】

(1) 社会人で在職のまま修学し、(2) 専門分野のより高度な技術と学識及び関連分野の幅広く系統立った知識と技術を修得し、(3) 分野を牽引する資質を持った人材を受け入れます。

【外国人留学生特別選抜試験で受け入れる人材】

(1) 専門分野のより高度な技術と学識及び関連分野の幅広く系統立った知識と技術に対する強い学習意欲とそれを学ぶための専門分野における高度な知識を持ち、(2) グローバルな視野を持って、国際社会を牽引する資質を持った人材を受け入れます。

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜

(1), (2) について、面接試験及び書類審査により評価します。

社会人特別選抜

(1), (2), (3) について、面接試験及び書類審査により評価します。

外国人留学生特別選抜

(1), (2) について、面接試験及び書類審査により評価します。

Ⅲ カーロボ AI 連携大学院について

生命体工学研究科を含む、北九州学術研究都市にキャンパスを有する北九州市立大学および早稲田大学の3大学院、さらに戸畑キャンパスの工学府と飯塚キャンパスの情報工学府を加えた3研究科・2学府が連携大学院を開設しています。そこでは、**今後ますます高度化・知能化が進む自動車・ロボット・人工知能（AI）**に関わる高度専門人材育成のために、産学連携による実学のノウハウを活用した教育体系を整えています。募集定員は本研究科で20名程度、連携大学院担当教員により入学直後に書類審査・面接により選抜が行われます。通常の研究科・専攻での履修に付加されるコースです。

本連携大学院を履修する学生は、以下の選択必修科目を含めて、指定された単位互換科目の中から定められた単位数を修得します。さらに、以下の総合実習のいずれかを選択することが推奨されます。修了生には修了証を発行します。

主に夏休み期間中に開催される総合実習では、**機械・制御・情報・電子の工学系の幅広い分野を専門とする学生が、博士課程学生から高専本科生（インターンシップ制度を利用）に至るまで幅広い年代の学生がチームを作り、自家用車を用いた自動運転や等身大家庭用サービスロボットを用いた実習を行います。**これにより、深い専門性に加えて幅広い見識を備えた「T字型人材」の養成を目指します。

選択必修科目

- ・ 自動車工学
- ・ 知能・ロボット工学概論
- ・ AIセミナー

総合実習

- ・ @ホームサービスロボット製作総合実習
- ・ 農業用ハウス環境制御総合実習
- ・ 自動運転車制御総合実習（早稲田大学開催）
- ・ AI ミニロボット製作総合実習（北九州市立大学開催）
- ・ BMI・ミニロボット製作総合実習（冬季開催）

詳細は連携大学院ホームページ (<https://jgs.kyutech.ac.jp/>) を参考にしてください。

- 正式名称：自動車・ロボットの高度化知能化に向けた専門人材育成連携大学院
- 沿革：
 - ・ 平成21年4月：「北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース」を開設
 - ・ 平成25年4月：「インテリジェントカー・ロボティクスコース」を開設
 - ・ 平成29年4月：インテリジェントカー・ロボティクスコースに「AIサブコース」を併設
 - ・ 平成31年4月：両コース・AIサブコースを統合して、カーロボ AI 連携大学院として再編
- 対象者及び定員：九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学の各大学院に所属する博士前期課程の学生、60名程度。
- 3大学が、(公財)北九州産業学術推進機構 (FAIS) と自動車・ロボット関連企業 の協力を得て講座を企画 (単位互換制度を活用)
- 関連企業技術者と少人数の履修生で構成される「オフサイトミーティング」による職業観の醸成

IV 長期履修制度について

1. 制度趣旨

学生が職業を有していること等により、学修時間の制約を受け、標準修業年限で履修が困難な場合、申請に基づき6年を限度として、計画的な履修を認めることができます。

計画的な履修を申請し、履修許可を受けた場合、許可された年限内であれば標準修業年数（3年）分の授業料で修了することが可能です。

2. 授業料の取り扱い

長期履修が許可された場合の授業料については原則として「定められた授業料の年額 × 標準修業年限（3年） ÷ 長期履修を許可された年限」により算出された金額を、各年毎に支払うことになります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、再計算され、改定時から新授業料が適用されます。

なお、長期履修許可期間終了後も引き続き3年間在籍は可能ですが、その場合は一般の学生と同額の授業料が徴収されます。

【参考：授業料徴収方法】

(1) 標準修業年限（3年）

	1年目	2年目	3年目	—	修了までに要する総額
年額	535,800	535,800	535,800	—	1,607,400

(2) 入学時に長期履修（6年）を申請

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	修了までに要する総額
年額	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900	267,900	1,607,400

(3) 入学時に長期履修（6年）を申請していた者が、1年次終了時に3年短縮した場合

	1年目	2年目	3年目	—	修了までに要する総額
年額	267,900	535,800	535,800	—	1,607,400
差額	267,900	←変更許可時に徴収。			

(注)上記の金額令和3年度額につき、在学中を含め、今後変更される場合があります。

3. 履修期間について

長期履修期間は最大6年を限度として、下記のとおり「年」単位で取り扱います。

(1) 入学当初からの申請 : 標準修業年限3年のところ、4、5、6年での申請可

(2) 1又は2年次終了時からの申請 : 長期履修前の期間を含め6年まで申請可

4. 長期履修期間の変更等について

相応の理由があると認められる場合、長期履修期間の変更（延長・短縮）ができ、下記のとおり取り扱われます。ただし、履修計画最終年次での申請・変更は出来ません。

短縮 : 9月修了希望の場合は前年度の2月末日までに、3月修了希望の場合は8月末日までに、申請し、許可を受け、差額の授業料を納めた上で、翌年次から短縮することが可能です。ただし、標準修業年限未満での短縮修了は認められません。

延長 : 延長を希望する年度の前年度の2月末日（10月入学者にあつては8月末日）までに、申請し、許可を受けることで、長期履修前の期間を含め最大6年までの延長が可能です。授業料は標準修業年数（3年）分の授業料となるよう、再計算されます。

5. 申請手続き

修業までの見通し等を含め、履修計画等指導教員と相談の上「長期履修申請書」、「申請理由を証明するために必要と認められる書類」を生命体工学研究科教務・入試係へ提出してください。「長期履修申請書」等の様式については、合格後に配付します。

不明な点は、生命体工学研究科教務・入試係までお問い合わせください。

付表 主要教育研究分野別一覧

1. 生命体工学専攻

(※の教員を志望する場合は、事前に教務・入試係へ相談してください。)

講座名	主要教育研究分野	主要教育研究内容	担当教員
グリーンエレクトロニクス	パワーエレクトロニクス	パワーエレクトロニクス技術を応用し、人や環境に優しく、省エネルギーを実現する電力変換装置の開発やその応用に関する研究を行っています。具体的には電力用静止機器の電力変換装置やモータのセンサレス制御、高性能高効率駆動制御技術についての研究をしています。	花本 剛士
	グリーンエレクトロニクス：パワーデバイスおよびパワーエレクトロニクス	パワーデバイスとパワーエレクトロニクスの研究を行っています。材料・デバイスからシステムまでをカバーしている総合力が特徴です。カーボンニュートラル実現に向けて研究を行っています。最近ではxEVや風力などの自然エネルギーの活用、超長距離電力伝送に幅広く使われています。将来は海外の砂漠に設置された太陽光発電所の電気を皆さんが自宅で使う日が来ると思います。(当研究室は次世代パワーエレクトロニクス研究センターに属しています。ホームページ： http://power.kyutech.ac.jp/)	大村 一郎
	ナノ材料・エネルギー変換システム	生体の高効率なエネルギー変換システムを学び、そのメカニズムを応用した新エネルギー変換素子を開発します。また光電変換デバイスに使用するナノ材料の開発も行っています。具体的にはナノ機能材料及び電気触媒などの材料合成を行い、ペロブスカイト太陽電池などの次世代光電変換デバイス及び新型二次蓄電池の開発を行っています。これらの研究を通して、新エネルギーや環境に興味を持つ学生を育成します。また、国際化プログラムを推進するために、アジアの研究者及び留学生を受け入れています。留学生及び外国研究者との交流を通して国際舞台で活躍できるエンジニアの育成に努めます。	馬 延麗
	電気化学デバイス・有機エレクトロニクス・材料工学	光合成の仕組みを利用した太陽光を電気に変える有機系の次世代太陽電池と柔軟性を用いた簡単と低コストで作製できる有機電子デバイスの研究を行っている。目的を達成するためには太陽光を吸収する新色素(近赤外色素)の合成、電荷を効率的に運ぶ高い電子及びホール輸送する有機半導体とそれの簡便製膜技術の開発が必須である。上記光機能性分子を分子軌道計算で設計、合成し、それらの応用は太陽電池及び有機エレクトロニクス分野に有用性を評価している。計算化学—合成—基礎物性デバイス評価までの広い領域をカバーし、高効率有機太陽電池と有機エレクトロニクスデバイス作製のための指針を提案し、環境を通じて社会に貢献することを研究の目的としている。	バンディヤム スティル
	パワー半導体、電気電子材料	ダイヤモンドを電子デバイスに応用する研究を行っています。ダイヤモンドは半導体としての優れた特性を持っており、その性質を応用した高性能・新機能の電子デバイスを実現することで脱炭素社会の実現に貢献します。(研究室ホームページ http://www.life.kyutech.ac.jp/~watanabe/)	※ 渡邊 晃彦
生体流体力学	生体力学	材料力学や機械設計、計測、計算機シミュレーションを活用して、医療支援(医・歯・看護系と工学の連携)や製品設計指針に関わる研究を行います。すなわち、血管の数値解析を行い、動脈硬化や動脈解離などの病変の力学的知見を提供します。骨突起部の軟組織(皮膚・血管)・マットレスの変形測定や有限要素解析を行い、褥瘡の合理的な予防を支援します。歯科保存修復治療具の有限要素解析を行い、治療技術や材料利用技術を検討します。	山田 宏
	生体流体力学	先端医療をより高度化するため、機械工学、特に流体工学やそのほか力学の知識を用い、(1)人工臓器開発のための血液流れの溶血・血栓現象の数値的・実験的解明、(2)衝撃波を利用したドラッグ・デリバリー・システム(DDS)の開発、(3)衝撃波を利用した環境バイオプロセスの開発、(4)再生医療のための衝撃波細胞増殖制御、血液内の白血球の走化性の物理的解明とマイクロマシン動力源としての応用、(5)循環器系流れのフラクタルを利用した流れの数値シミュレーションとその高速計算のアルゴリズムの開発、(6)気泡や超音波の医療応用、(7)衝撃波による細胞変形挙動解明、さらには(8)気泡を用いた上下水浄化システム向上、(9)高齢者の転倒による脳損傷のシミュレーションによる解析、などの研究を行っています。(キーワード：流体工学、生体医療工学、医用流体機器、血液流れ、血栓と溶血、衝撃波、気泡、DDS、転倒時衝撃、水処理)	玉川 雅章

生 体 メ カ ニ ク ス	バイオマイクロデバイス	半導体加工などのマイクロ・ナノ加工技術を利用して実現される微小な構造と機能は、マイクロマシンやMEMS (Micro Electro Mechanical Systems) と呼ばれます。このMEMS技術とバイオ技術を融合することで、医療や創薬に貢献する革新的なマイクロデバイスを構築します。例えば、シリコン基板上に微小な培養容器、流路、電極などを形成し、その上で細胞を安定的に培養する技術、細胞を局所的に刺激する技術、細胞の電気的・化学的応答を計測する技術などを構築し、再生医療や病気のメカニズム解明に必要な細胞解析、新薬の効果や安全性の評価などを行うことが可能なマイクロデバイスを実現します。	安田 隆
	生 体 機 能 材 料	病気やけがにより損傷を受けた生体組織の機能を代替する生体材料の合成と評価を行っています。主として骨や歯、軟骨等の修復に焦点を合わせ、材料の持つ特性を引き出しながら、優れた生体親和性を発揮する新素材を設計します。例えば、生体内で異物反応なく骨と自然に結合できる人工骨を、セラミックス、金属、高分子、あるいは有機-無機ナノハイブリッド等から創成し、その微細構造や化学的特性、生物学的親和性を評価します。さらに、生物が小さなエネルギー消費で骨や貝殻を作り出すプロセスに学び、常温常圧の下で高機能セラミックスを合成し、医療や環境浄化等に応用する試みも進めています。最近では、上記に加えてがん治療や薬剤徐放を支援するセラミックス微粒子の研究も展開しています。	宮崎 敏樹
	知 能 機 械	近年、ロボット技術が医療・福祉分野に適用され、ロボットが人と接する機会が増えています。その場合、従来の産業用ロボットとは異なり、人とロボットが接したときのお互いの損傷が少ないよう柔軟な素材を使ってセンサやアクチュエータを構成することが必要です。そのような背景から、「柔軟なセンサ・アクチュエータの医療・福祉・産業への応用」を目指し、(1)形状記憶材料や人工筋肉のロボットへの応用、(2)低侵襲治療機器にも用いることのできる柔軟な触覚センサ、(3)血管内治療用シミュレーションシステムなどの研究を行っています。	高嶋 一登
	MEMS ベース 医 工 学	マイクロマシニングにより作製するMEMSやマイクロ流体デバイスを、がん研究に役立てることを目指します。電気駆動する微小な機械であるMEMSを使って、生体分子同士や、生体分子と化学物質の相互作用をリアルタイムに計測します。また、硬さ・粘弾性の点から、がん細胞を評価していきます。数センチ角サイズのマイクロ流体デバイス内では、効果的に細胞の状態を観察したり、微量の試料の反応や検出を行います。	※ 久米村 百子
	呼 応 型 機 能 材 料	人工の材料の中には、取り巻く環境に応じて自発的に構造を作り変えながら、それらと調和するものがあります。しかしながら、自然界や生物の体内で起こる変化 (pH, 温度, 応力, 生体分子の濃度など) に応じて多様な機能を発揮する材料は未開拓です。 セラミックスや金属の骨格と有機分子を分子レベルで構造を制御しながら組み上げることで、周囲環境に呼応して機能を発現する多機能型材料を設計します。例えば、有機修飾された層状化合物にイオンや薬剤分子を組み込んだ複合材料を合成します。材料構造や哺乳類細胞の応答を調べ、細胞が発する刺激に呼応して機能を発現する材料の創製を目指します。さらに、組織再生医療や環境浄化への応用に向けて展開します。	※ 中村 仁
界 面 機 能 工 学 分 野	地球的課題、すなわち化学による循環可能社会を実現するための研究を展開しています。とくに界面が特異な機能場・反応場であることに着目し、固液界面の機能を利用したセンサ研究、気液界面の機能を利用した大気と水の資源化、固液界面の機能による温暖化ガスの有用化合物への変換、などの研究課題に取り組んでいます。 新しい学術的発見や新しい技術の創製に院生自身が係わる機会があることはもちろんです。そして、そのような機会は、教育現場としての研究室活動に於いては、問題を見出し、問題を解決し、それを考察・総括して、口頭や文章で伝えるまでの一連の能力の育成に資するところが大きいのです。界面という様々な産業に活かされる視点は、研究室修了者のキャリアパスにも大いに活かされています。 春山研究室 (界面機能工学分野) の教育研究活動や成果、研究室OBOGのキャリアパス (就職などの進路) や活躍については、その一部を研究室のホームページ上で紹介しているので、併せて閲覧してください。	春山 哲也	

環境共生工学	微生物工学	微生物は精巧な微生物機能により、様々な過酷な環境で生き延びる術、有用な物質を造りあげる術などを兼ね備えています。そのような微生物が持つ有用な機能を工学的に応用するために、バイオフィーム形成、微生物間コミュニケーション、環境浄化などに関わる機構を遺伝子工学的かつ生物化学的な視点で解明し、その微生物機能に基づいた新規環境技術の構築を目指しています。	前田 憲成
	生物機能構造	タンパク質分解酵素検出試薬、ペプチドナノ構造体等の設計、合成およびその解析を行っています。生体分子の機能発現にはその立体構造が重要です。体外診断薬開発に向けたタンパク質分解酵素活性検出用蛍光性ペプチド、機能性ナノ構造体を形成するコラーゲンペプチドなどを有機合成し、その機能を解析することによって、生体関連分子の機能と構造の関わりを解明しています。	加藤 珠樹
	生物物質循環	持続可能な循環型社会形成に向けたバイオマス資源の利活用を中心とした教育研究を行います	脇坂 港
	光機能ナノ材料	光励起により様々な機能を発現する無機の半導体材料の開発とその反応機構の解明を目的に研究を行います。具体的には、環境浄化やエネルギー変換を引き起こすことができる光触媒やこれらを応用した光触媒電極などです。これらの反応機構を理解するために分光法をはじめとする様々な手法によって材料評価を行います。最終的には、地球環境に調和できるようなクリーンエネルギー材料を創成し社会に貢献します。	村上 直也
	生物機能分子	タンパク質や核酸類などの生体分子や独自に設計した生体機能分子を応用する工学研究を推進しています。具体的には、生体分子とナノ粒子の融合による新規機能性ナノ材料の構築を行い、食品・医療分野へ応用可能なセンサの研究開発を推進しております。また、植物・昆虫由来の機能性タンパク質をベースに独自に設計した生体分子を利用して、遺伝子組み換えタンパク質の発現を高効率化する研究や植物や微生物のストレス耐性を強化する研究を推進しています。この技術は微生物殺虫剤やバイオ医薬品などの物質生産の高効率化へ応用展開しております。	※ 池野 慎也
	環境共生機能材料、高分子材料、低炭素化プロセス	環境問題は、様々な国や地域と連携して解決することが必要です。国際連携に根ざした研究をおこない、現実の社会を見据え、“環境”をキーワードに研究室で学んだ技術を通して国際感覚を養います。地球環境を守るだけでなく我々をも守る社会づくりに向けて、天然資源であるバイオマスを原料とする材料開発、環境と共生できる社会づくりを目指します。そのためには、資源・エネルギー及びリサイクル技術の開発と社会での技術実証は重要です。バイオマス素材の機能性を活かすために、既存技術である有機合成や高分子合成を学び、付加価値の高い材料を創生することでバイオマス由来の材料の社会への導入を進めていきます。	安藤 義人
グリーンテクノロジー	マイクロ工学	ロボティクス・グリーンテクノロジーの理解を深めながら、マイクロ・ナノスケールで出現する特異な現象を理解していきます。この現象を適用したメカトロニクスの主要パーツであるアクチュエータ・センサ材料の設計、製作技術に関する教育と研究を実施します。 ・メカトロニクス・ロボティクス製品の環境性能向上を考慮した磁性材料の研究 ・アクチュエータ・センサの高性能化に必要な薄膜形成技術の研究 ・真空用ロボットに必要な真空軸受用固体潤滑剤の研究	※ 佐々木 巖
	メカトロニクス, 制御理論, 制御技術応用	メカトロニクスシステムのシステム設計および実現につき理論的および実験的に教育と研究を行ないます。キーワードは精密化(ナノメートルレベル)と高速応答化です。さらに、メカトロニクスシステムが人間と協調する環境を想定し、そのためのシステム設計をハードおよびソフトの両面から教育および研究します。	※ 本田 英己
	エネルギー	地球温暖化、エネルギー問題に対し、温室効果ガス排出の大幅削減が世界的に精力的に推進されています。そこで、再生可能エネルギーの水素等への高効率変換を実現する高温水蒸気電解セルや電力・水素など二次エネルギー間の変換・貯蔵に用いる高効率燃料電池、各種電池等の電気化学デバイス技術の研究を行い炭酸ガス排出のないエネルギーシステムの実現を目指します。	※ 嘉藤 徹

講座名	主要教育研究分野	主要教育研究内容	担当教員
人間知能機械	フィールドロボティクス	ICT技術の発展とともに、ロボットの活動範囲は工場の自動化から極限環境、サービス分野まで拡大しています。社会で活躍するロボットを開発するには、ロボットの知能化や人間/ロボット共存が重要な研究課題です。本研究室ではフィールド実験や競技会を通じてロボットの有効性を検証し、社会に貢献できるロボットの開発を目指しています。具体的には、水中ロボットによる海底調査や水中構造物の検査、トマト収穫ロボットの開発、ロボカップサッカーを題材にしたマルチエージェントシステムの開発等を行っています。	石井 和男
	知能創発ナノシステム	生体の機能に学んだ人工知能(AI)ハードウェアなど新しい情報処理に用いる為の基本的なAIナノ電気デバイスの材料工学に根差した開発およびそれらを組み上げたAI電気回路の実現を目指しています。特に脳型信号発生・伝達、音声・画像認識のためのAIナノデバイスに注目しています。具体的には、スパイクパルスを用いるニューラルネットワークや振動子ネットワークを実現するAIナノデバイスを開発し、さらにそれらを回路化することによりこれまでに類を見ない性質の発現を目指した、材料工学から脳型応用にまたがる広い分野を網羅する基礎研究です。この分野に所属した学生は、研究の過程で、基礎学問としてのメゾスコピック物理学、有機・無機電気物性の知識を得るとともに、産業界で要望されている実践的な最新のAIナノ電気デバイス作製技術・応用法やその回路化技術、脳型応用などを習得することができます。	田中 啓文
	人間機能代行システム	疾病や加齢によって生じる身体機能障害は、ヒトの感覚・運動機能および脳の働きが不十分なために生じます。ここでは、ヒトの感覚・運動機能の特性を心理物理学的実験方法により解析し、その特性に基づき、ヒューマンインタフェースの観点から障害者・高齢者の不十分な身体機能を代行・支援する人間親和性の高い支援装置や機能代行方法の研究開発をおこないます。	和田 親宗
	脳型計算機システム	“人間と自然なインタフェースで意思のやり取りを行い、人間のように自ら考え行動できるロボットの実現”を遠大な目的として掲げ、人間の持つ知能を工学的に実現する“脳型計算機システム”の研究開発を行います。再構成可能半導体FPGA, Many Core CPU, インターネットを複合した“ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク複合体”により、高い演算性能と電力効率を実現する専用性と、多様な問題へ対応できる汎用性を両立するシステムを確立します。これに、生物の脳が持つ学習機能を融合することで、自ら考え、経験を積み、学習・成長する脳型計算機を模索します。さらに、人間の生活空間で人間のパートナーとして働くサービスロボットや自動運転車、人間に優しいインタフェースを提供する知的動画画像処理等へ多角的応用を行います。本分野へ所属した学生は、研究活動を通し、現在の高度情報化社会を支えるハード、ソフト、ネットワークに関する実践的な技術とそのシステム化に関するノウハウを習得できると共に、脳機能という21世紀最大のフロンティアを工学的な立場から切り開き応用する研究テーマへと携わることが出来ます。	田向 権
	人間機能支援システム	計算論的神経科学とロボット開発を行います。(1)腕の到達運動など、人間の運動を計測、解析し、(2)人間の腕の到達運動を説明できるような数学的なモデルを作成し、計算機シミュレーションによって検証します。これらの成果を踏まえた工学的な応用として(3)人間のけん玉やテニスのサーブなどの運動をカメラで観察して人間の動きをうまく真似できたり、人間のように柔軟な動作のできる運動学習ロボットの開発などを行います。	宮本 弘之
	脳型ロボットビジョン	農業現場や海洋環境など実フィールドで活躍するロボットのためのセンシング・制御技術を、生体の情報処理機構を手がかりに確立することを目指します。研究開発した計測・制御技術や装置をロボットに実装し、フィールド実験を介して有用性を検証します。	※ 安川 真輔

	フィールドロボティクス	本研究室では社会に貢献できるロボットエンジニア，研究者の育成を目指し，学生にはフィールドロボティクスを題材に「研究・開発」，「ものづくり」，「データ処理・解析」，「フィールドワーク」の4つに取り組みながら研究してもらいます。機械，電気，制御，システム，情報処理など幅広い分野を総合的に学び，ロボット開発に適用できる人材の育成に取り組んでいます。	※ 西田 祐也
人間知能創成	脳型高次知能システム	脳型人工知能を実現するアルゴリズム開発と学習理論の研究をしています。特に、データを通して普遍的な知識を発見し、ものごとを多面的・多層的に理解する知能アルゴリズムの研究に取り組んでいます。また開発したアルゴリズムをビッグデータ可視化等に応用する研究も行っています。さらに、人間のコミュニケーション解析や行動発達の数理モデルにも取り組んでいます。これらを通して、自己理解や個性が創発する知能の実現に向けてチャレンジしています。	古川 徹生
	人間・社会的知能システム	ヒトやシャカイを理工学的に理解し、それに基づいた支援システムを構成し、さらに社会実装にも取り組んでいます。人工知能・機械学習や制御など数理工学に基づいた知能ロボティクスや、脳科学、スマートライフケア領域における医療福祉系の学術研究は勿論、日本屈指のスマートライフケア共創工房を活用し、支援ロボットのプロトタイプ開発や性能評価を、高齢者、障がい者、医療・看護・介護従事者など多様なプレイヤーと連携して推進しています。近年は、人工筋肉を用いた小型軽量歩行アシスト装置、既存歩行器のアシストロボット化、マルチロボット協調による着衣介助、ソフトロボットハンドや、全身神経筋骨格モデルに関する研究、スマートデバイスを用いた患者の調子予測、深層学習モデルを用いたヒトや動物の行動観察など、多彩な研究を推進しています。	柴田 智広
	知能推論システム	ヒトの行動を計測したり、日々の状態を計測、収集することで、行動の予測などのより深いヒトの理解が可能になると考えています。このためには、行動など表面的に観測できるものから、内部の状態を推定することも必要になります。内部状態も考慮した行動モデル、状態遷移モデルを実現することで、行動予測や行動シミュレーションなどの実現を目指しています。	堀尾 恵一
	センサ行動認識・予防医療応用	スマートフォンやセンサから集められたデータから行動を認識し様々なサービスに活用する技術を研究します。医療・介護ビッグデータも集めながらAIを育てます。	井上 創造
	脳型知能創発システム	非線形力学の方法論を基盤に、脳、身体、社会の三つの発想から脳(知能)や身体(制御)の計算原理を追求し、それを再現するロボットや人の支援装置の開発など、理論と実装・実験を対にした理工学的研究を行います。	我妻 広明
	感性情報処理	人間の主観的な特性に着目し、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション研究のひとつとして感性情報処理に関する研究開発を行います。印象や嗜好といった人間の感性と結びついていると考えられる要因を探り、数学的・工学的にモデル化し、情報システムのデザインに応用します。パターン理解やソフトコンピューティングなどの基礎技術だけでなく、認知科学や心理学の知見についても学び、情報処理技術と人間の特性を融合させることで、より人間と親和性の高い情報システムをデザインすることを目指します。	※ 吉田 香

	生物規範知能システム	生物を規範としたロボットの設計や制御、情報処理に関する研究をしています。生物は、外力の影響を受ける身体のやわらかさや、情報を劣化させるノイズの存在など、一般に工学的な欠点・問題として扱われる特徴を持っていますが、それらを逆に利用して優れた適応性を実現していると言われています。そのようなメカニズムを工学的に理解・応用するのが研究の主眼です。研究テーマは、ロボットのハードウェア開発から学習制御システムの提案・実装、シミュレーションまで、幅広く柔軟に設定することができます。	※ 池本 周平
人間・脳機能	脳型動的情報システム	下等生物の神経系から高等生物の脳内まで観察される神経リズムは、生物の能動的情報処理機構と関連があります。この様な脳内神経リズムを用いた能動的情報処理機構を、実際の動物の脳を用いた生理学実験とコンピュータを用いたシミュレーション実験、さらにヒトの脳波実験によって解明し、教育と研究を行なっています。また脳信号によりコンピュータ・機械を制御する研究も行っています。	夏目 季代久
	数理脳情報学	脳の内側側頭葉のニューラルネットワークモデルと魚の行動に関する研究と教育を行っています。内側側頭葉モデルでは、特に記憶・学習に関する研究を行い、魚の研究では電気受容器を有する魚の行動について研究を行っています。	立野 勝巳
	脳型分子感覚情報処理	外界環境の検出およびその情報伝達には、受容細胞内において多様な分子が動的に関与しています。化学物質受容細胞の化学物質検出機構、情報処理機構を生理学的に研究し、これらの機能発現に関与する分子を遺伝子レベルで解明しています。受容細胞の特徴を利用した新しい信号処理システムの開発を目指しています。	大坪 義孝
ヒューマンテクノロジー	知識情報処理	知的システムにおけるアルゴリズム開発の基礎的方法論および応用事例研究を行います。本研究では、自然界や人類が持つ「知」を学ぶことで、問題解決やコミュニケーションに役立てること、すなわち価値創造に結びつけることを重要視しています。具体的には、ファジィ論理やソフトコンピューティングおよび統計解析などの基礎的内容の理解と同時に、健康や環境分野を対象として応用研究を行います。特にセンサデータ解析に基づく、指標・基準・因果関係の開発と活用方法の構築を目指しています。また、人間-機械協調系における社会的知能について検討を行います。さらに、企業における研究開発のあり方について紹介、議論します。	※ 中嶋 宏
	画像センシング	人間の視覚機能を工学的に実現するための基礎的方法論および応用事例研究をおこないます。人間は外界の光が様々な物体に反射して目に飛び込んできた結果を利用して瞬時に意味のある情報に変換しています。これら一連の機能をカメラや照明装置、計算機を駆使したり多様なアルゴリズムを活用することで、人間の視覚を超える機能として実現することを目指しています。	※ 諏訪 正樹
	生物模倣型ロボット	生物の機能・能力・構造からヒントを得て工学に応用するバイオミメティクスに注目し、ロボットの新しい移動形態・制御システム・情報処理システムを開発することを目指します。	※ 松尾 貴之

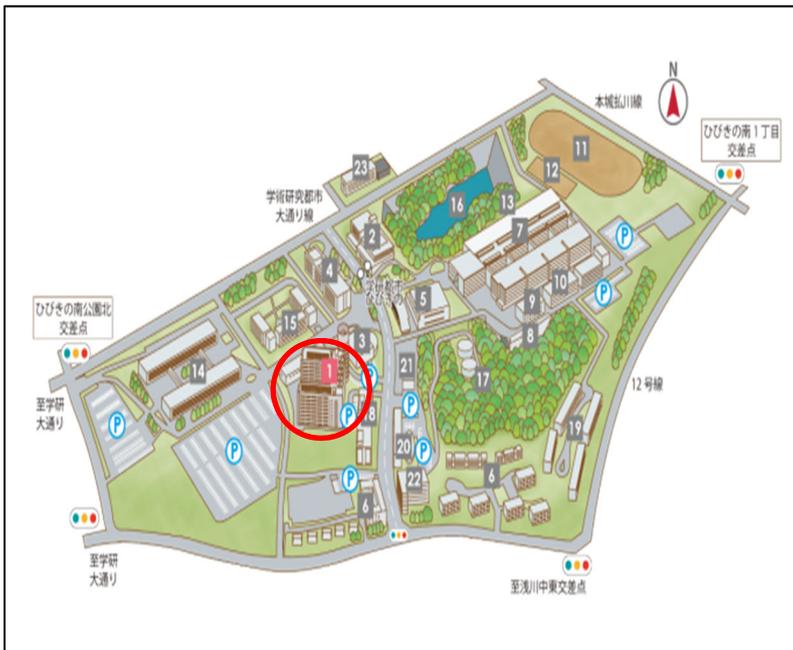
■ 周辺案内図



■ 交通機関



■ 建物配置図



1 九州工業大学
大学院生命体工学研究科

2 学術情報センター
(図書館・情報処理施設)

3 会議場

4 産学連携センター

5 体育館

6 教職員宿舎

7 北九州市立大学 国際環境工学部
大学院国際環境工学研究科

8 環境エネルギーセンター

9 北九州市立大学 計測・分析センター

10 北九州市立大 特殊実験棟

11 運動場

12 テニスコート

13 クラブ棟

14 早稲田大学大学院 情報生産システム研究科

15 早稲田大学 情報生産システム研究センター

16 花村池

17 配水池

18 情報技術高度化センター

19 留学生宿舎

20 北九州市立大学 留学生会館

21 共同研究開発センター

22 事業化支援センター

23 技術開発交流センター

九州工業大学大学院生命体工学研究科教務・入試係

〒808-0196 北九州市若松区ひびきの2番4号

TEL : 093-695-6006 (直通)

E-mail:sei-nyushi@jimu.kyutech.ac.jp

<http://www.kyutech.ac.jp/>